



発行 社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会 住所/〒406-0822 笛吹市八代町南917 電話/055-265-5182 FAX/055-265-5183 発行責任者: 社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会 会長 早河正弘 広報「かけはし」には、赤い羽根共同募金の配分金が活用されています。

基本方針 7つのあい

- 知りあい
- つながりあい
- みとめあい
- そだてあい
- ささえあい
- 見守りあい
- 助けあい

# かけはし

## 令和2年度 事業計画

国が平成28年から推進している「地域共生社会」は、様々な生活上の課題を地域住民や多様な活動団体が「我が事」として捉え、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしや生きがいを地域住民と関係機関が共に創っていく社会のことです。

笛吹市社会福祉協議会は、この動きの中で、共に支えあい助けあう地域づくりをむけて、「7つの地域あい、みんなであい」をつくる共生のまちをテーマに、「住民が主役」となって推進する第3次地域福祉活動計画（平成29年度～平成33年度）を策定しました。

令和元年に行った活動計画の中間評価では、「住民が主役」をより進めるためには、住民と話し合いながら、事業によっては住民が主体となる活動に移行を進めることが必要であることがわかりました。地域づくりでは、地域により偏りがあり、また、参加住民の固定化・高齢化により継続が困難な状況にあることがわかり、これらの改善が重要であることがわかりました。

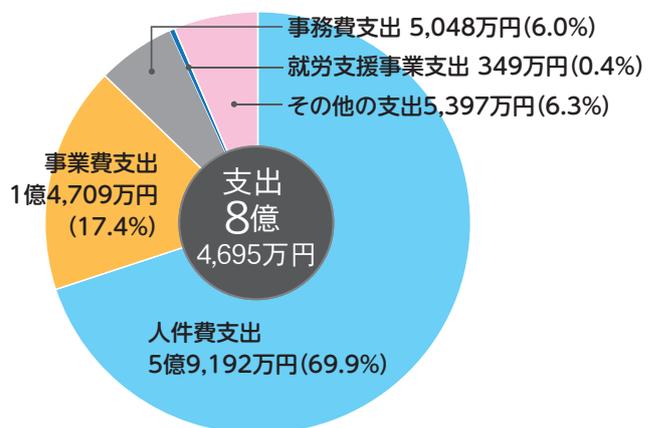
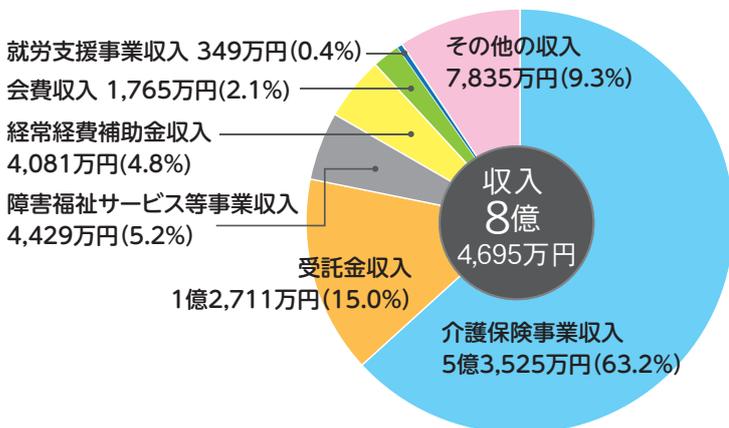


この評価を受けて令和2年度事業計画を策定しました。計画では、活動計画を確実に推進するとともに分野横断的な地域福祉活動をさらに充実させ、住民が主役となって様々な事業が地域に根付く活動となるよう進めることで、住民一人ひとりが安心して暮らせ、生きがいを感じられる地域づくりを進めます。地域福祉事業や介護事業を中心とした在宅支援のサービスの質の向上を目指します。また、単独の相談機関では十分に対応できない、いわゆる「制度の狭間」「複合的な課題を抱える」等の個別のニーズや地域のニーズに応えられる体制の整備を着実に進めていきます。

### 重点目標

- 1 地域共生社会の実現を目指します。住民からの相談に適切に対応し支援します。
- 2 住民主体の活動を支援します。すべての住民の地域生活の維持にむけてスマイルいちのみやを運営します。
- 3

## 令和2年度 予算



※内部取引である「サービス区分間繰入金収入・支出」「拠点区分間繰入金収入・支出」は除いて表記しています。

赤い羽根共同募金のご報告  
13,105,402円 (前年度比 100.8%)

お寄せいただいた募金は自分たちのまち(笛吹市)の地域福祉のために使われます。ご協力、誠にありがとうございました。

助けあい



# 『支え合う地域の活動』 ～わたしのまちの魅力人～

## 第1部 記念式典

令和2年2月17日(月)、笛吹市スコレーセンターにて、第12回笛吹市社会福祉大会を開催し、220名以上の方々が参加しました。第1部の記念式典では、笛吹市の地域福祉の発展に貢献された27名3団体の方々に表彰状・感謝状が贈呈されました。

### 社会福祉活動功労賞

- ★ 岩野英美様 [石和]
- ★ 原奈津美様 [石和]
- ★ 植村新次様 [石和]
- ★ 渡部源吉様 [二宮]
- ★ 深山 礼様 [二宮]
- ★ 河野安美様 [八代]
- ★ 窪田恵美子様 [春日居]
- ★ 大林徳恵様 [石和]
- ★ 間瀬靖子様 [石和]
- ★ 久保田人司様 [御坂]
- ★ 有馬千里様 [二宮]
- ★ 丸山嶺男様 [二宮]
- ★ 三枝啓子様 [境川]

### ボランティア活動功労賞

- ★ 宮川陽子様 [芦川]
- ★ 芦澤義男様 [芦川]

### ボランティア活動奨励賞

- ★ 木曾川佑次様 [石和]

### 職員感謝状

- ★ 齊藤隆男様 [八代]

### 金品感謝状

- ★ 雨宮 隆様 [八代]
- ★ 大須賀宣方様 [境川]
- ★ 早河正弘様 [二宮]
- ★ 竹内 稔様 [石和]
- ★ 八代仏教会様 [八代]
- ★ 株式会社小山電気様 [御坂]
- ★ 笛吹市社会福祉チャリティーゴルフ大会実行委員会様 [笛吹市]

### 特別感謝状

- ★ 小川利英様 [春日居]

### 施設の愛称採用者表彰

- ★ 加藤大輝様 [石和北小学校]
- ★ 樋口沙耶様 [一宮南小学校]
- ★ 富塚康成様 [石和中学校]
- ★ 矢崎優衣様 [石和]
- ★ 河野莊二様 [石和]



## 第2部 基調講演・シンポジウム

第2部の基調講演では、原田正樹氏(日本福祉大学副学長)を講師にお招きし、『支え合う地域の活動』と題し講演をしていただきました。講演内では2025年問題の背景と課題、地域包括ケアシステム構築についての説明、地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制についてのお話がありました。続くシンポジウムでは、市内NPO法人の代表理事・住民主体のボランティア活動の代表者・地域サロンの実践者・社会福祉協議会職員が発表者を務め、それぞれの発表者が行っている支え合う活動を紹介していただきました。

様々な支え合う活動を紹介することにより、大会の参加者が活動を始めるためのきっかけとなり、また、既に行われている活動への共感や参加促進を図っていくための機会となったと感じております。



### 参加された皆様からの声

日本の抱えている問題を構造的(人口)な観点から示していただき、よくわかりました。(60代介護保険事業所関係者等)

困った時に助けを求めることが大事なのだと思います。(50代ボランティア)

平日開催にもかかわらず小中学生の参加があり、地域の活動に関心があることにとても驚きました。(40代)

自分の生活もあるのに積極的にボランティア活動している姿に頭が下がります。笛吹市にこんなにも地域のことを考えてくださる方がいて明るい未来も見えます。(70代ボランティア)

## 複合福祉施設 スマイルⅴいちのみや が5月1日に開所します!

### 通所介護事業所

在宅生活の維持と多世代交流を通じた生きがいづくりができる事業所を目指します。

### 就労継続B型事業所

就労訓練や生活訓練(ジャム作りや清掃作業等)を通じて、障がい者の自立支援を行います。

### 生活介護事業所

個々に合わせた活動、レクリエーション等の余暇活動、入浴等の支援を行い、障がい者の地域での生活を支援します。



### 多世代交流の複合福祉施設

スマイルいちのみやは、高齢者の通いの場(デイサービス)と、障がい者の通いの場(就労継続支援B型・生活介護)の3つのサービス提供を行う複合型の施設です。利用者同士の交流をはじめ、多世代(子どもから高齢者まで)の交流の場、福祉教育の場など、地域の皆様が立ち寄れて活用できる、地域に根ざした福祉の拠点施設となるよう取り組みを進めていきます。

【お問い合わせ】 笛吹市社会福祉協議会 一宮複合福祉施設建設準備室(担当/中原・石原)  
TEL: 055-265-5233 FAX: 055-265-4488